

電力の需給状況と節電へのご協力へのお礼について

2021年2月19日
電気事業連合会

昨年12月下旬以降、全国的な電力需給のひっ迫に伴い、お客さまをはじめ、広く社会の皆さまに大変なご迷惑とご心配をおかけしております。先月より、電気の効率的なご使用による節電へのご協力をお願いさせていただいており、ご協力いただいた多くの皆さまに、改めて厚く御礼を申し上げます。

今回の需給のひっ迫は、全国的に厳しい寒さが続き、例年に比べ電力需要が大幅に増加したことにより、燃料在庫が低下する状況となったことなどから、主に発電電力量(kWh)の面で供給力が不足したことによるものと考えております。

こうした中、電力各社では、燃料の追加調達や、日ごろ稼働していない高経年火力を含めた発電所をフル稼働させるなど、供給力の確保に全力を尽くすとともに、広域機関と連携しながら需給ひっ迫エリアへの広域的な電力の融通を行うことにより、安定供給を確保いたしました。

1月下旬から2月にかけては、厳しい寒さの日もありながら、平年の気温を上回る日も多くなったことから電力需要が落ち着きを見せるとともに、発電用LNGについても、各社において安定供給に必要な水準まで回復していることを確認しております。また、電力供給面では、定期検査中であった原子力発電所(関西電力大飯発電所4号機)が1月15日に起動し、現在は定格熱出力一定運転による電力供給を行っております。火力発電所についても、定期検査時期の繰り延べや増出力運転の継続などにより供給力の確保に努めているところです。こうしたことから、今冬は需給ひっ迫を避けられる見通しとなったものと認識しております。

本件については、経済産業省「電力・ガス基本政策小委員会」において検証も開始されたところです。私どもとしても今回の電力の需給ひっ迫に伴う課題の解決策について検討を進めてまいります。

いずれにしても、電気の効率的な使用にご協力いただいた皆さまはもとより、燃料調達にご協力いただいた関係業界の皆さま、自家用発電機の最大限の運転にご協力いただいた皆さまなど、多くの皆さまに感謝申し上げます。

なお、2月13日に発生した福島県沖を震源とする地震において、太平洋沿岸を中心に複数の電源が停止しましたが、被害の軽微な電源から順次運転を再開しており、電力供給に大きな影響はありません。

※各地域の電力の需給状況については、それぞれの一般送配電事業者のHPに掲載している「でんき予報」をご確認ください。

以上